

ひとが輝くまち



YUZA Town Public Relations

広報

ゆざ

平成30年 No.689

7



今月の話題

「遊佐町生涯学習推進計画」を策定しました	2P
遊佐町の平和を守る消防団	4P
新たな町の防災活動拠点	6P
地区住民運動会	8P
鳥海山の貴重な水資源を守りたい	10P
遊佐町子育て世代包括支援センターを開設しました	11P
空き家再生地域おこし事業第1弾!	12P
ほか	

『遊佐町生涯学習推進計画』を策定

学びでつながって、遊佐の未来を。

これからの人生100年時代を見すえ、だれもがいつでもどこでも、共に生涯にわたり、生きがいをもって学び続けることができる生涯学習活動の更なる充実をめざしていきます。

生涯学習ってなあに

「生涯学習」とは、人々が生涯を通じて行うあらゆる学習を総称するものです。その分野には、学校教育や社会教育の中の組織的に行われるものに限らず、芸術・文化、スポーツ・レクリエーション、ボランティア、趣味など、あらゆる分野が含まれます。

学習形態も、個人学習から学校での学習、生涯学習センター・図書館・地区まちづくりセンターでの学習、サークル活動など、さまざまな形態で行なわれています。

町民の学習ニーズに応えて

近年、少子高齢化や社会構造の変化の中、平成28年10月に実施した生涯学習に関する町民意識調査では、約6割の方がなんらかの生涯学習を行いたいと答えています。町民の学習ニーズが多様化・高度化していることに加え、地域課題も複雑化し生涯学習の重要性が増しています。この状況の中、今、町民一人ひとりが、自立する力を高めるための知識や能力を身につけられるよう、生涯にわたり学習が継続でき、その成果を適切に活かすことができる社会の実現が求められています。

「第2次遊佐町教育振興基本計画」の策定を受け、これまでの町の取組みの現状と課題を踏ま

え、町の生涯学習施策をより総合的、計画的に推進するための新たな指針となる「遊佐町生涯学習推進計画」を策定しました。

計画期間は2027年度までの10年間。基本理念「学びでつながり 拓こう持続可能な遊佐の未来を」の実現のため、新たな4つの基本方針を掲げています。達成に向け、年次ごとに進捗管理を図りながら施策を推進していきます。

だれもが「学べる」から

「つながる」地域社会へ

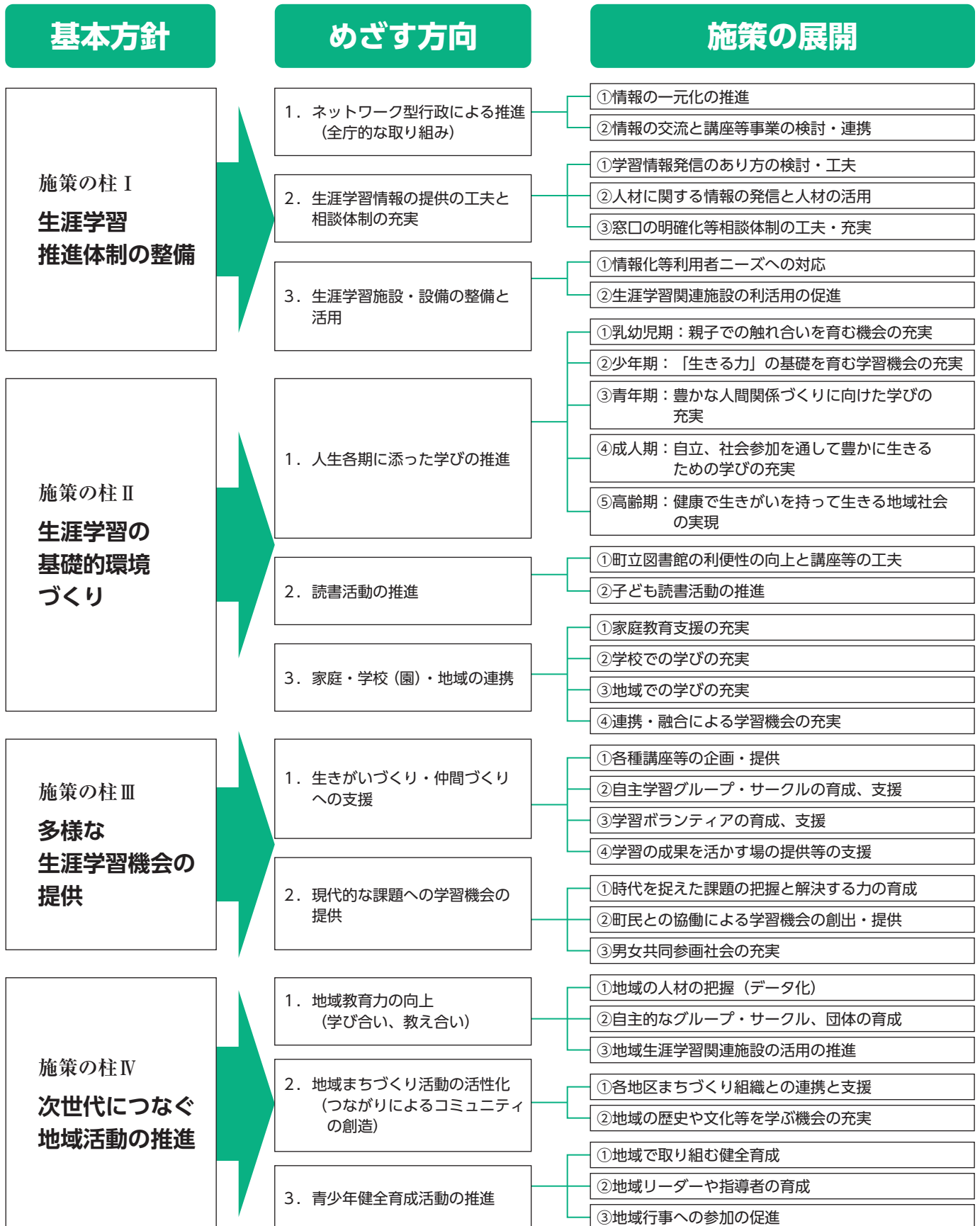
学習することによって自らの人生を豊かにするだけでなく、その学習成果を社会へ還元していくことは大きな喜びとなります。生涯にわたる学習を通じて個人が地域社会とつながり、交流による仲間づくりから、さらに地域づくりにつながることを期待されます。

このため、さまざまな学習ニーズに応える学習活動を行うきっかけの扉が開かれるためには、町民一人ひとりが生涯にわたって学習できる環境整備が必要となります。今後、町が行う事業を総合的に捉えネットワークを構築しながら、だれもがアクセスしやすい学習機会の提供や、学習環境の整備を進めていきます。

「だれもが、いつでも、どこでも」研修会や生涯学習まちづくり出前講座などを活用して楽しく学んでいきましょう。



世代を超えてつながる生涯学習のすがた



**達成
目標**

生涯学習を実施している人の割合を、**26% (2016年時調査)**から**35%以上**にすることをめざします。[2022年度までの目標指標]

出典：遊佐町生涯学習推進計画

遊佐町の平和を守る消防団



遊佐町消防団は、平成30年4月1日より団長はじめ主要幹部が交代しました。地域の防災の要となる、新たな遊佐町消防団を紹介します。

消防団とは

消防団とは、普段はそれぞれの本業に就いている町民で構成された町の消防機関です。非常勤地方公務員として、非常時には消防署などと連携して災害などの対応に当たります。遊佐町消防団は、本団と町内各地区の7つの分団により組織され、消防団長をはじめとする700名（条例上の定数）の団員により構成されています。地域防災のリーダーであるという誇りを胸に、日頃から訓練や防災啓発活動、また有事の際は現場に駆けつけ対応に当たるなどさまざまな活動に取り組んでいます。

日頃の訓練の成果を発揮

消防団では、1月の消防出初式に始まり、年間を通してさまざまな活動に取り組んでいます。5月26日(土)には遊佐中学校グラウンドで春季消防大演習が行われ、はしご乗り演技や放水訓練など、日頃の訓練の成果を披露しました。今後も火災予防運



見事なはしご乗り演技を披露

女性消防団員も活躍しています

動や防火パレードなどに取り組む、町民の防災意識の向上を図るとともに、地域の安全と安心を守っていきます。

女性力を活かし、現在部長、班長含め9名の女性消防団員が各自の仕事をもちながら、春・秋の防火週間時の防火啓蒙等の活動を行い、地域・町内の減災活動に努めています。女性消防団員の入団も常時、お待ちしております。

『特設公衆電話』はご存知ですか？

特設公衆電話とは、災害時に帰宅困難者等が無料で利用できる公衆電話です。この電話を利用して発信すると、優先扱いで電話を掛けることができます。専用の電話機が設置されている訳ではなく、専用の回線が用意されており、有事の際は一般の卓上電話機をそこにつなぐことで利用します。町内では防災センターをはじめ、学校やまちづくりセンター、福祉施設など計24施設に設置されています。もしもの時は、ぜひご利用ください。



有事の際のための優先電話回線です



第10代遊佐町消防団 団長

佐藤 和博 (富岡)

このたび、遊佐町消防団第10代団長に就任しました。これまでの経験を活かし、災害時に迅速に行動できる消防団として各種訓練、教育を積極的に行い、団員一丸となって、精進していきます。地域に密着して、町民の「生命・身体・財産」を守るべく活動し、災害を未然に防ぐための広報や巡回活動に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



本部分団 分団長

遠田 勝則 (大井)

女性消防団員、ラッパ隊、梯子隊をまとめ、分団員と火災・災害予防啓発活動を行います。



副団長

加藤 隆 (横町三)

佐藤団長を補佐し、町民の皆様の安全安心のため、精一杯活動してまいります。



副団長

金野 勝彦 (藤井)

自然豊かな遊佐町と町民の安心安全、生命と財産を守るため、佐藤団長を補佐し取り組んでまいります。



第3分団 (高瀬) 分団長

鈴木 聖春 (谷地下)

分団独自で操法大会等訓練を行い、地域を守る『カッコイイ消防のお兄さん』をめざします。



第2分団 (蔵岡) 分団長

池田 龍介 (上小松)

「自分たちの町は自分たちで守る」をスローガンに、団員と地域を守っていきます。



第1分団 (遊佐) 分団長

本間 勝浩 (六日町)

消防団員のひとりとして初心を忘れることなく、地域のために尽力します。



第6分団 (西遊佐) 分団長

赤塚 雅之 (中藤崎)

火災や災害時だけでなく、地域住民の皆さんと一緒にさまざまな活動をしていきたいと考えています。



第5分団 (稲川) 分団長

石垣 浩明 (東宮田)

小規模な分団ではありますが、地域の皆さまから頼られる存在になれるよう、努めます。



第4分団 (吹浦) 分団長

池田 大 (女鹿)

海と山に囲まれた自然豊かな吹浦地区の安心安全を守るべく、団員一丸となって励みます。

新たな町の防災活動拠点 遊佐分署が完成しました



平成30年3月、酒田地区広域行政組合
消防署遊佐分署の新庁舎が竣工しました。
新たな町の防災活動拠点をご紹介します。

町の防災活動拠点として、日本一安全で安心なまちづくりをめざして、町・県・国と一体になり、地域防災の要である消防団と協力し、来たる災害に備えてまいります。

消防署遊佐分署

**消防署遊佐分署が
生まれ変わりました**

施設の老朽化や耐震性の問題などから、消防署遊佐分署が生まれ変わり、新たな町の防災活動拠点としての運用が開始されました。総事業費は約2億9980万円（地盤調査、備品購入代等含む）。新庁舎には普通ポンプ自動車1台、高規格救急自動車1台、広報車1台が配備されており、6月1日現在分署長以下19名の消防隊員が配備されています。

現場へ、より迅速に

新庁舎は有事の際に迅速に現場に向かうことができるよう、さまざまな工夫がされています。消防隊員の動線を考え、防火着衣室を庁舎中央に配置することにより、事務室、休憩室、仮眠室から速やかに出動態勢を整え、現場に向かうことができるようになっています。また、防火着衣室の空間を広く取ることににより、一度に大人数が出動する際にもスムーズな出動が可能となっています。車庫前には降雪および気温センサーで作動する融雪設備（ロードヒーティング）を設置。夜間の大雪

食堂

消防署では食事は毎日自炊！
消防隊員が順番を決めて持ち回りで料理をしています。

仮眠室



個室になった
仮眠室。有事に
備えてゆっくり体
を休めます。

訓練塔

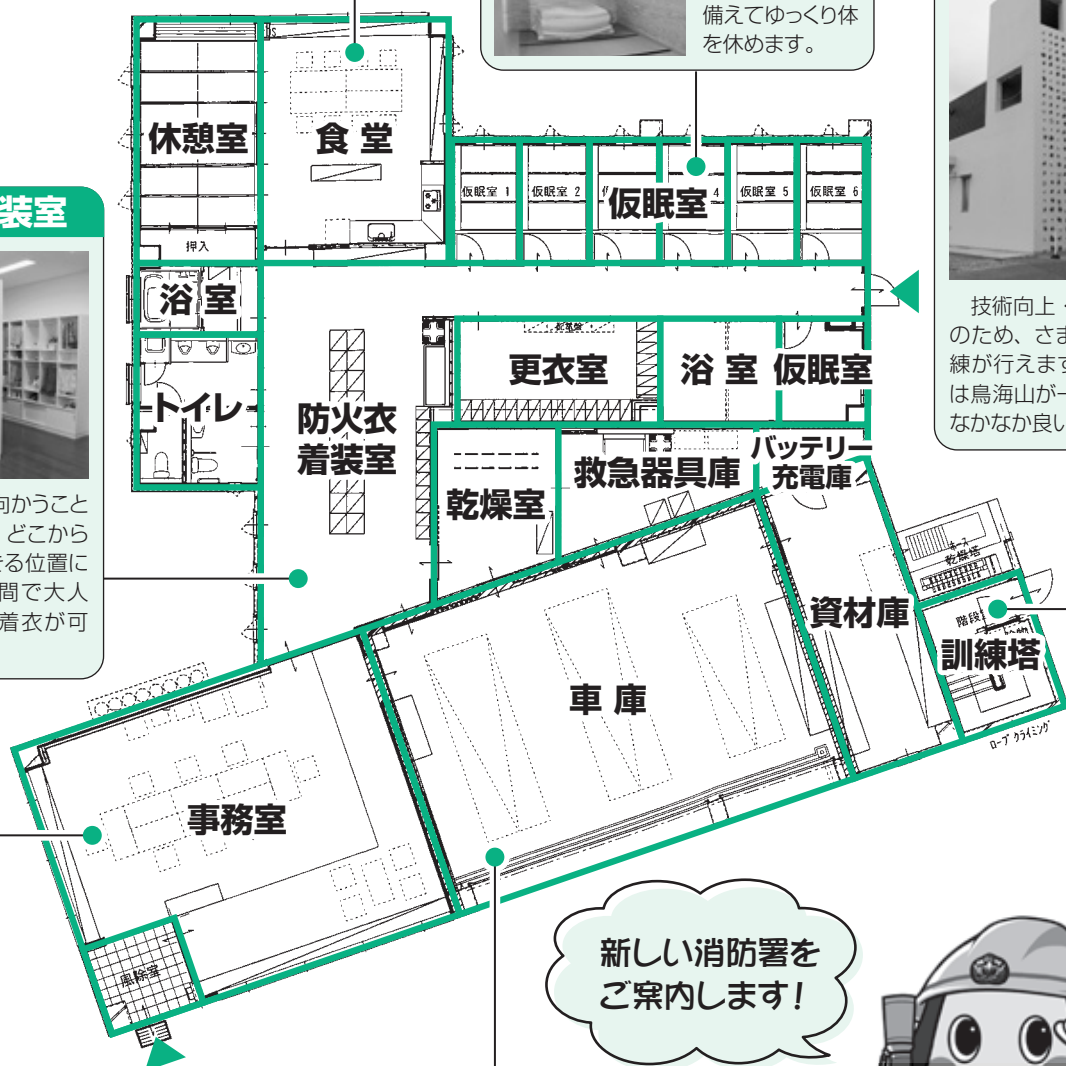


技術向上・体力向上
のため、さまざまな訓
練が行えます。上から
は鳥海山が一望できる
なかなか良い景色が。

防火衣装着室



迅速に現場に向かうこと
ができるように、どこから
でもアクセスできる位置に
配置。広めの空間で大人
数でも速やかな着衣が可
能です。



事務室

配備人員は2班編成で、基本
的には6人の消防隊員が勤務し
ています。強風など災害が予想
される際は人員増で対応！

車庫

豪雪にも負けないように、
融雪設備を設置。どんな時
でもスムーズに現場に出動
します。

新しい消防署を
ご案内します！



日々の備えを忘れずに

の際も問題なく車両を出動させるこ
とができます。さらに車庫内にも
ヒーターが備え付けられ、冬期間の
車両の凍結等の対策が行われるなど、
雪国の厳しい冬にも負けない工夫が
されています。

地域の安全と安心を守るためには、
日々の備えを欠かすことはできませ
ん。新庁舎の北側には、訓練施設と
して屋外訓練塔を整備。ボルダリン
グなどによる体力向上訓練のほか、
旧庁舎ではできなかった高所からの
降下訓練や、階段を利用した火災対
応訓練などさまざまな訓練を行うこ
とができます。

また、いざという時に活躍するた
めには、しっかりと体を休めること
も大切です。旧庁舎の仮眠室は大部
屋で雑魚寝だったため、ゆっくり休
めないことがありましたが、新しい
仮眠室は待望の個室となりました。
消防隊員たちがそれぞれ自分のリズ
ムで休むことができ、体調管理も行
いやすくなっています。

今後とも、新しくなった遊佐分署
と、日々奮闘する消防隊員をよろし
くお願いします。



吹 浦



高 瀬



西遊佐

6/3 地区住民大運動会



稲 川



遊 佐



蕨 岡



吹 浦



高 瀬



西遊佐



稲 川



遊 佐



蕨 岡



吹 浦



稲 川



高 瀬



西遊佐



稲 川



遊 佐



吹 浦

蕨 岡

力走する選手たち。陣地からの応援。グラウンドも熱くなる。結果より大切なもの。それは、みんなの「笑顔」。



西遊佐



高 瀬

写真は各まちづくりセンターよりご提供いただきました。ありがとうございました。

Result 大会結果 Result

吹 浦	高 瀬	西遊佐	稲 川	遊 佐	蕨 岡
優勝 ▼ 横町一	優勝 ▼ 菅 野	優勝 ▼ 白 木	優勝 ▼ 大 井	優勝 ▼ 野沢下	優勝 ▼ 上小松
準優勝 ▼ 横町三	準優勝 ▼ 升 川	準優勝 ▼ 茂り松	準優勝 ▼ 田地下	準優勝 ▼ 野沢中	準優勝 ▼ 大蕨岡
準優勝 ▼ 小野曾	第3位 ▼ 富岡・畑	第3位 ▼ 中藤崎	第3位 ▼ 北宮田	第3位 ▼ 上吉出	第3位 ▼ 石 辻



～鳥海山の貴重な水資源を守りたい～ 臂曲地区における岩石採取不認可に関する要請活動



署名簿を前に知事と意見交換

町民8割の 署名を手渡す

6月12日(火)、県庁知事室で遊佐町環境保全会議(佐藤朗会長)による鳥海山麓臂曲地区における岩石採取不認可に関する要請活動が行われました。

当日は、同会議の佐藤朗会長、石原春雄副会長(区長連絡協議会会長)をはじめとする7名と婦人会連絡協議会と庄内みどり農協女性部から6名の計13名が参加し、県議会からも酒田飽海選出の県議会議員の同席がありました。

また、町議会の要望活動も併わせて実施され、土門副議長からは、去

る5月25日に全会一致で議決された要望書が手渡されました。

この要請活動は、前回不受理とされながらも再度申請が出された採石業者による臂曲地区の採石計画に対して、県が認可しないよう求める要請書と全町民の約8割から署名のあった署名簿を提出したものです。

町民の声を届ける

吉村知事との意見交換は限られた時間でしたが、参加者からは、「里の名水・やまがた百選でも遊佐町内で7か所選定されている。その源となっている鳥海山をぜひ守っていただきたい。」「むき出しになっている鳥海山の山肌を毎日見せつけられて、いつになると緑になるのか不安だまらな。」「鳥海山を遠くから眺めても中腹にぽっかりと穴が開いている。現地に行くとさらにその規模に驚かされる。」との町民の声が伝えられました。

吉村知事からは、採石法の認可基準に自然環境への配慮を盛り込むよう経済産業省に要望していること、申請された採石計画については、遊佐町民の思いを受けつつも町の条例を巡り、採石業者と係争中である状況も踏まえながら、十分検討を重ねていることなどを説明いただきました。

吉村知事に手渡された署名数

町民からの署名数	11,012筆
町外在住者からの署名数	1,890筆
合 計	12,902筆
(遊佐町環境保全会議の集計結果より)	

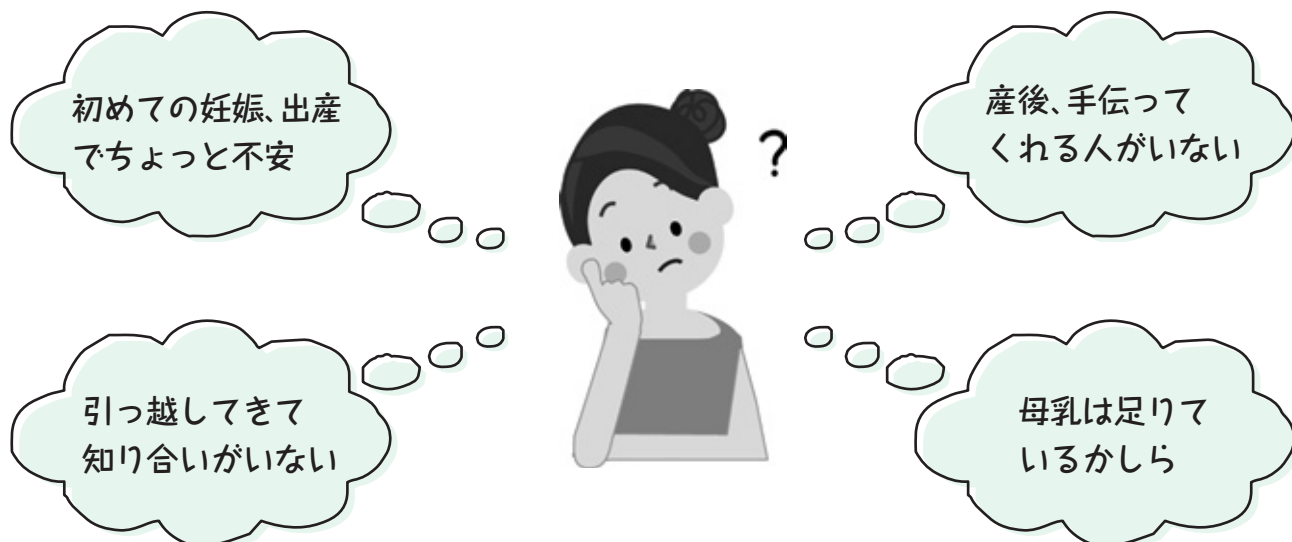


要請活動の締めくくりに参加者全員で



遊佐町子育て世代包括支援センター を開設しました

妊娠、出産、育児。家族が増えることは、喜びと期待がいっぱいな反面、赤ちゃんのことだけでなく自分のことや家族のことなど、いろいろな悩みも出てきます。そこで、妊娠・出産・子育てに関する総合相談窓口「子育て世代包括支援センター」を平成30年度から健康支援係（防災センター内）に開設しました。妊産婦さんやご家族の相談に応じて、必要なサービスにつなぎ、皆さんの子育てをより一層支援していきます。一人で悩まず、お気軽にご相談ください。



妊娠期

出産・産後

子育て期

主
な
事
業

妊娠届出
母子健康手帳交付
妊婦健康診査
マタニティ教室
ほっとママ広場
個別相談（訪問・電話など）

母乳相談事業（費用助成）
産後ケア事業（宿泊型）
新生児訪問
赤ちゃんギフトプレゼント
エンゼルヘルパー派遣
など

乳幼児健診・予防接種
離乳食教室・食育教室
エンゼルヘルパー派遣
子どもセンター事業
家庭訪問・園巡回相談
育児相談 など

子育て支援サービスの情報提供・電話相談・来所相談・家庭訪問等
子育て支援係、子どもセンター、医療機関などの関係機関との連携

<相談窓口>

健康福祉課 健康支援係（防災センター） ☎72-4111

相談受付 月～金 8:30～17:15（祝日・年末年始を除く）



空き家再生地域おこし事業 第1弾!

古民家カフェ『わだや』がオープンしました!

空き家再生地域おこし事業とは

町内の空き家をお店などに再生して、起業する移住者に貸し出し、起業者と地域の皆さんと一緒に町を盛り上げようとする事業です。昨年7月に行われた第0回空き家再生プロジェクトの会議で「町にカフェがあったら良いな〜」という多数の声を受け、プロジェクトが始動しました。建物は平成28年に実施した空き家追跡調査により出会った、築77年の古民家空き家。所有者さんから町の事業にご理解をいただいて、昨年10月には店主さん探しや空き家の工事・DIYに取りかかり、ついに今年5月12日、空き家再生地域おこし事業第1弾、古民家カフェ『わだや』としてオープンしました。



空き家再生プロジェクト



畳の客席は、実家のようにくつろぎ空間を演出

『わだや』を

ご紹介します!

『わだや』は、遊佐小学校向かいの空き家を活用して生まれた古民家カフェ。「和田」集落にある「古民家」を活用しており、「我が家」のように落ち着ける場所にしたいという想いから、『わだや』と名付けられました。

メインのメニューは「おやき」。手作りおやきは、「あんこ」「遊佐カ

古民家カフェ『わだや』 Information

住所 ▶ 遊佐町吉出字和田 3-5
営業時間 ▶ 11:00 ~ 18:00
(ラストオーダー / 17:30)
定休日 ▶ 木・金
駐車場 ▶ 約5台(2軒先に第2駐車場有)
アクセス ▶ 遊佐小学校向かい / 遊佐駅より徒歩約10分 / 車で約3分

☎0234-31-8650

レー」のほか、季節の遊佐産の食材をあんにして、皆さんに提供しています。ドリンクも、オリジナルブレンドの珈琲を始めとしたこだわりのラインナップとなっています。

お店には、ふせんを使って気軽にメッセージを残せるスペースも設けられています。2階にはレンタルスペースもあり、趣味の会や交流イベント等にもご利用いただけます。利用についての詳細は、店主さんにお問い合わせください。

★店主からのメッセージ

わだやはすぐステキなお家です。お時間があるときはゆっくりしに来てください。

空き家再生

地域おこし事業の

今後の予定

空き家再生地域おこし事業は平成31年度まで実施する予定となっており、6月23日(土)には、「第2回空き家ばなしをしよう会」がわだやで開催されました。今後は、この空き家ばなしをしよう会で出された意見を基に、次の空き家再生地域おこしプロジェクトを進めて行きます。プロジェクトの告知等については、地域おこし協力隊のHP「来ちゃいなよ。ゆざまち」(<http://yuzamachi.com>)を通してお知らせしていきます。古民家カフェ『わだや』がオープンするまでの取り組みも同HPに掲載されていますので、ぜひご覧ください。今後も、空き家のDIYなどさまざまなことに取り組んでいきますので、皆さんも奮ってご参加ください!



「来ちゃいなよ。ゆざまち」
はこちらから!

● 企画課定住促進係
☎ 28-82557

活動内容

主な活動として、4月は、遭難防止用指導標の設置（大平コース）、7月雪田草原の保護ロープ設置（湯ノ台コース）、8月町内小学校6学年登山の協力などがあります。山岳ガイド協会の一員として活躍している会員も多く、生涯学習センターのトレッキング講座の運営協力も行っています。このほか重要な活動として、山岳遭難が発生した場合の捜索・救助活動、そのための訓練などがあります。



遭難防止用指導標の設置（大平コース河原宿）



行方不明者の捜索（鳥越川上流部）

鳥海山岳会からのメッセージ

山で遭難しない極意、それは「無理をしない」こと。他の登山者をあてにする「ついで行く系」の方も多くいます。御浜で新山を眺めながら「あの山なんていう山かしら」と言う「猛者」もいますが、地図を持参して安全に登山を楽しんでいただきたいと思っています。特に8月以降は日没が早くなるので、日帰り登山であつてもヘッドランプの持参を強く推奨します。

これからの地元の山岳会として、地域のために頑張っていきたいと思っています。

● 岡／鳥海山岳会事務局 高橋 3388
☎ 070-156221

鳥海山・飛島ジオパーク リレーコラム

「日本海と大地がつくる水と命の循環」

《第43回》

「大地の力を感じる場所」



秋田地学教育学会 板垣 直俊氏

由利本荘市には、鳥海山の火山活動が始まる約六〇万年前以前の地層や岩石が見られるジオサイト（ジオパークの見どころ）がたくさんあります。それらのジオサイトの中で、私が最も地球の歴史と大地の力を感じる場所は、「宮沢林道の大褶曲露頭」です。この露頭は石沢地区の出羽丘陵内にあり、林道の途中に車を置いて三十分以上歩かなければなりません。現地に着くと高さ五〇メートル、幅二〇メートルの大褶曲露頭に圧倒されてしまいます。（褶曲とは、地層が曲げられることです。）

この地層は、約一二〇万年前に深海に堆積した女川層という地層で、堆積後の隆起によって陸上で見えるようになったものです。



宮沢林道の大褶曲露頭

深海に泥が堆積した時には、地層はほぼ水平でしたが、写真でもわかるように、この地層は右上から左下方向に大きく波打ってグニャグニャになっています。この場所は、日本を代表する褶曲露頭の一つなのです。地層がこのような大きく曲げられたのは、東日本大震災をはじめとする大地震を引き起こしてきた太平洋プレートが、日本列島をものすごい力で押し続けていることによるものです。宮沢林道の大褶曲露頭は、このような大地のパワーを目の当たりにできる貴重な場所なのです。

将来を担う若者たちのまちづくり

第16期少年議会スタート

5月14日(月)から21日(月)にかけて、第16期少年町長・少年議員の立候補受付を行ったところ、少年町長・副町長に各1名、少年議員に10名の立候補がありました。その結果、い



第16期の少年議員たちに当選証書が付与されました

れも定員内だったため立候補者全員の当選が確定しました。6月10日(日)には、役場議事所で第16期少年町長・少年議員当選者への当選証書付与式と、第1回少年議会が開催され、当選者が所信表明を行いました。

少年町長には齋藤愛彩さん(高瀬)が、副町長には石垣千里さん(稲川)が就任。少年議員には佐藤聖さん(高瀬)、池田緩菜さん(高瀬)、池田優希さん(吹浦)、菅原楽斗さん(稲川)、菅原涼さん(高瀬)、高橋菜穂さん(遊佐)、佐藤亜紀さん(高瀬)、佐藤鮎奈さん(高瀬)、白崎志織さん(吹浦)、鈴木麻優子さん(遊佐)の、計10名が就任されました。少年町長に就任された齋藤愛彩さん、副町長に就任された石垣千里さん、少年議長に就任された鈴木麻優子さんは、少年議会へ3回目の当選。今までの経験を活かした活躍が期待されます。

今後、少年議会は行政と若者をつなぐ存在として、町の活性化のためさまざまな場面で活躍していきます。皆さん応援をよろしく願います。

平成30年度 防犯功労者(団体)表彰

5月22日(火)に平成30年度公益社団法人山形県防犯協会連合会定時総会が開催されました。総会において、遊佐地域づくり協議会が平成30年度防犯功労団体として、齋藤均さん(駅前二区)が防犯功労者として表彰を受けました。見回り・巡回をはじめとした日頃からの継続した防犯活動が、地域の安全に大きく貢献していると評価されました。



継続した防犯活動が評価されました

町の主要産業を学ぶ …町内の各小学校で田植え体験

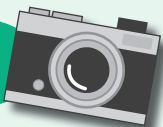
5月の中旬から下旬にかけて、町内の各小学校で田植えの体験学習が行われました。地域の農家の方が先生になり、5年生の児童に田植えの仕方をレクチャーします。児童たちは裸足になると、泥だらけになりながら手作業での田植えに励みました。植えた苗は、収穫の時期になったら刈り取り体験を行い、収穫祭で振る舞われる予定です。大きく育つといいですね。



元気に田植えをする吹浦小学校の児童たち

フォト トピックス

Photo
Topics



坂ニモマケズ



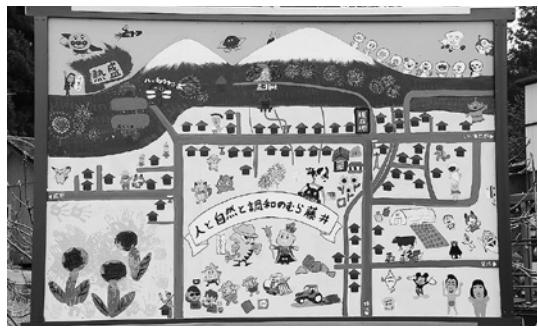
6月9日(土)、第37回鳥海ブルーライン登山マラソンが開催されました。212名の参加者たちが、激坂に顔を歪めながらも力強く走る姿が見られました。

吹浦祭協賛会が表彰



6月8日(金)、吹浦祭協賛会が山形県観光物産事業功労者表彰を受賞しました。吹浦地区が一体となる吹浦祭行事の運営や、長年にわたる地域づくりへの貢献が評価されました。

新たな集落の案内役



藤井集落の案内看板が新しくなりました。この看板は集落の若者や子どもたちのハンドメイドで、10年毎に更新されています。いろんなキャラクターが隠れて?いますので、探してみてくださいね!



第1回遊佐町史編さん・編集合同委員会を開催しました

6月11日(月)、平成30年度第1回遊佐町史編さん・編集合同委員会を開催しました。

那須教育長より、編さん委員・編集委員に委嘱状が手渡された後、審議に入りました。町史上巻では原始時代から幕末の戊辰戦争の勃発までを、下巻では現在までの遊佐を描きます。町史は、町の歴史の集大成であるとともに、これからの町づくりの基本となるものです。平成32年度中の発行をめざし、定期的に委員会を開催し、作業を進めてまいります。

● 図 / 教育課文化係 電話 72-5892

遊佐町史下巻の発刊に向けて



和気あいあいとした雰囲気でも地域交流を深めました

めざせダイヤモンド賞! 第10回遊佐町町長杯グラウンド・ゴルフ大会

6月10日(日)、遊佐町総合運動公園で第10回遊佐町町長杯グラウンド・ゴルフ大会が、総勢173名の参加により開催されました。町長杯は地区対抗となっており、計24ホールで各地区上位5名のスコアを競います。今年は上位5名の合計打数267打で、遊佐地区が優勝に輝きました。

この日は前半からホールインワンが多く見られ、「ダイヤモンド賞狙ったんねがー」など明るい会話を弾ませながら、地域の交流を深めました。

おたより大募集！

日頃感じていることや心温まるエピソード、広報の感想など、あなたの声をお寄せください！ご投稿は投書ハガキでどうぞ。

●問／企画課企画係 ☎72-4523



時には寸劇を交えて、認知症をわかりやすく説明します

認知症の方も安心して暮らせるまちへ
 …認知症サポーター養成講座を開催
 6月8日(金)に遊佐中学校で、12日(火)には遊佐高等学校で、遊佐町のキャラバン・メイトによる認知

Town Voice



まちかど

ホットライン

読者の広場

症サポーター養成講座が行われました。認知症サポーターとは、認知症の事を正しく理解して応援する人のこと。講座では、認知症とはどのようなものか、認知症の方に対しどのように接するべきかをわかりやすく説明し、最後に認知症サポーターの証であるオレンジリングを渡しました。

人も黒松も健やかに

…緑の少年団で枝打ち体験学習

5月23日(水)、十里塚で緑の少年団の枝打ち体験学習が行われました。参加したのは新たに少年団に入団した藤崎小学校の4年生24名、砂丘地砂防林環境整備推進協議会の皆さんから手ほどきを受けながら、慣れない鋸で一生懸命黒松の枝を落としていきました。



大きな枝を落とすのは大変！

庄内砂丘の海岸林は、町の偉人である佐藤藤蔵をはじめとした方々が植樹した歴史的な遺産であ

るとともに、地域の暮らしを支える大切なもの。黒松林の将来を担う子どもたちと共に、末永く守り続けていかなければなりません。

黄雞第70巻記念 第44回全国短歌大会

6月3日(日)から4日(月)にかけて、鳥海温泉遊楽里で第44回全国短歌大会が開催されました。大会には県内各地から39名の方が参加。作者名を伏せた形で一首一首読み上げると、参加者による批評が行われました。その後、大会会長、講師の阿部京子氏により、短歌の表現手法や受け取り手がどう感じるか等の指導が行われました。参加者の方々も、この機会を作歌生活の糧にしようと、真剣な眼差しで臨んでいました。



作者名を伏せた状態で選評を行います

高瀬 受け継がれる高瀬小学校相撲大会

田んぼの緑が勢いを増しているなか、高瀬小学校相撲大会が開催されました。今年で64回目を迎え、伝統ある相撲大会となりました。毎年、小学校保護者と地域住民とで土俵を作り、土俵の神の加護を願い土俵祭りを行い本番に備えています。土俵の造りも本格的です。屋根と四本柱があり、水引幕が付けられています。現在この造りは、遊佐町で高瀬のみとなっています。

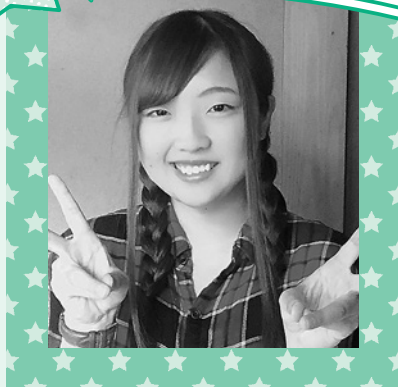
また、横綱の土俵入りや弓取りも代々地域から受け継がれている行事になっています。今後も取り組みはもちろん、土俵やのほりにも注目して相撲を楽しんでほしいと思います。

●問／高瀬まちづくりの会 ☎72-2937

まち協インフォメーション



化粧まわしを付けて堂々の弓取式



池田 唯さん(谷地上)

Yui Ikeda
平成 10 年生まれ

ふるさと

故郷の町にフォーカスします!!!

■一言／

写真を撮ることが好きで、マイ一眼レフとGoProを持って遊佐町を探検しています。今まで撮影した中で一番のお気に入り、高瀬小学校へ向かう通学路の水田に、鳥海山と満天の星空が逆さに映り込んだ一枚。次の撮影ポイントは、高瀬峡にチャレンジしてみたいと思っています。

私は犬派・猫派でいうと断然猫派で、うちでは2匹の猫を飼っています。名前は「ごはん」と「ごてん」、どちらも0歳10カ月の♂です。はじめはすごく小さかったのですが、2匹とも（特にごはんが）食欲旺盛で、今や体重6キロと4キロのサイズにまで成長。ごはんはおもしろい特技を持っていて、垂直に立てたはしごを登るのがすごく早いんです。よその猫と比べても、うちの猫がイチバンかわいい！と思っている愛猫家です。

■町への要望／

遊佐フェス、夕日祭りのコンサートのよう、盛り上がる音楽イベントをもっと開催してほしいです。



大物も協力して掘り出し！

6月6日(水)、西浜海水浴場で遊佐中学生・遊佐高校生合同による海岸清掃活動が行われました。中学生と高校生の合同班となり、環境推進員の皆さんの指示の下、班に割り当てられた範囲のゴミを拾

中高生合同海岸清掃

…きれいで気持ちのいい海へ

遊佐町商工会青年部

”絆”感謝運動

平成30年6月10日(日)、遊佐町商工会青年部は”絆”感謝運動として西浜海水浴場の海岸清掃を実施しました。

”絆”感謝運動とは、毎年6月に全国の商工会青年部が一斉に地域貢献活動を実施することにより、地域の絆への感謝の気持ちを表す

います。高校生が各班のリーダーとなり、海から流れ着いたプラスチックや木片、漁業に使う網など、たくさんゴミを集めました。7月13日(金)に予定されている海開きに向けて、美しい海岸を守りました。



海岸清掃を通して絆と感謝の気持ちを再確認しました

事業です。遊佐町商工会青年部では、酒田飽海建設総合組合遊佐連合支部青年部と合同で実施し、青年部員と青年部OB、そしてその家族を含めた13名が参加。海岸清掃をとおして地域と仲間、そして家族との絆と感謝の気持ちを再確認しました。



空き家の危険度もチェックしています

これからの季節はこまめに換気を!

集落支援員だより

5月28日(月)、6月4日(月)の2日間にわたり県の建築住宅課等の空き家対策担当者、危機管理係の職員と一緒に高瀬地区と蔵岡地区の空き家の実態把握調査を行いました。外観の目視調査でしたが、家屋の老朽危険度や衛生、景観などによる周辺への影響度などを指導していただきました。今後の空き家バンク登録物件を探す際の参考にしていきます。

空き家を所有している皆さまへ。湿度が上がる季節になってきました。家屋が傷まないように換気をして管理してくださるようお願いいたします。

集落支援員 渋谷一行、佐藤正子

☎72-3981 FAX28-8455 (集落支援員事務所：A コープゆざ店2階)